



はじめに

松山市では、平成29年に開催された第72回国民体育大会「愛顔つなぐえひめ国体」と第17回全国障害者スポーツ大会「愛顔つなぐえひめ大会」で、単独市として大会史上最多の合計32競技36種目が行われました。選手や観客合わせて延べ約25万人が参加し、競技はもちろん、参加者が交流を深めるなど、松山市全体が大いに盛り上がりました。

また、両大会をきっかけに、スポーツ施設を改修し、大会運営のノウハウを習得するほか、ボランティアを確保し育成するなど、大会終了後のレガシーになる大きな成果を得られました。

これらを存分にいかし、愛媛県とも連携しながら、松山市全体で誘致活動に取り組んだ結果、東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウンに認定され、以前から交流を重ねてきた台湾をはじめ、マレーシアやモザンビークの選手や関係者が、令和元年度に松山市で事前合宿を行いました。今後も、令和4年度には、プロ野球オールスターゲームと全国高等学校総合体育大会、令和5年度には、第35回全国健康福祉祭えひめ大会が開催されるなど、大規模なイベントが続く予定で、スポーツを通して松山市がさらに活気あふれるまちに発展していくことが大きく期待されています。

こうした中、世代や障がいの有無を問わず、全ての市民が生涯を通して自分自身に合った様々なスタイルで運動やスポーツを楽しみ、心身の健康を実感するとともに、スポーツで地域を活性化するため、令和3年度からの新しい「松山市スポーツ推進計画」を策定しました。

今後は、本計画に基づき、国や県、スポーツ関係団体のほか、地域や教育・医療・保健・福祉など各分野と連携して積極的に取り組み、松山市全体で「スポーティングシティまつやま」を創っていきたいと考えています。市民の皆様には、一層の御協力をいただきますようお願い申し上げます。

最後に、本計画の策定に当たり、幅広い視点で検討や審議を重ねていただきました松山市スポーツ推進審議会の皆様をはじめ、スポーツに関する市民意識調査や市民意見公募手続など、御協力をいただきました全ての方々に厚くお礼を申し上げます。

令和3年3月

松山市長 野志 克仁

目次

第1章 計画策定にあたって

1. 計画策定の主旨	1
2. 計画の位置付け	2
3. 計画期間	2
4. 計画策定にあたっての事前調査	3
5. 計画におけるスポーツの定義	9

第2章 前期計画の振り返りと評価

1. これまでの取組内容と成果	10
2. 今後の課題	17

第3章 計画の基本的な考え方

1. 基本理念	18
2. 基本目標	19
3. 施策体系のイメージ図	20

第4章 基本施策への取組方針

基本施策1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	21
（1）子どもの運動習慣の推進	21
（2）スポーツを通じた健康増進	22
（3）高齢者スポーツの推進	23
基本施策2 スポーツに親しむ環境づくり	24
（1）松山市のスポーツ施設	24
（2）全国大会への出場支援・表彰制度	25
（3）障がい者スポーツに関する取組	26
（4）安全・安心に関する取組	27
（5）関係団体・機関との連携	27

基本施策3 地域におけるスポーツ活動の推進	28
(1) 松山市が関わるスポーツ大会・イベントの推進	28
(2) スポーツ推進委員活動の推進	28
(3) スポーツボランティアの推進	29
基本施策4 地元プロスポーツの活性化	30
基本施策5 スポーツコンベンション・国際スポーツ交流の推進	31
(1) スポーツコンベンションの推進	31
(2) 国際スポーツ交流の推進	31
基本施策6 スポーツに関する情報の発信	33

第5章 計画の推進と評価

1. 計画の推進	34
2. 計画の評価	34
3. 施策目標一覧（再掲）	35

資料編

1. 松山市スポーツ推進審議会条例	36
2. 松山市スポーツ推進審議会委員名簿	37